

## 令和元年度 第4回下野市教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 令和元年7月18日(木)午後1時～午後5時
- 2 会 場 南河内公民館 201会議室
- 3 出席委員 教 育 長 池澤 勤 職務代理者 永山 伸一  
委 員 三橋 明美 委 員 熊田 裕子  
委 員 石嶋 和夫
- 4 出席職員 教育次長 坪山 仁  
教育総務課長 近藤 善昭  
学校教育課長 田澤 孝一  
生涯学習文化課長 手塚 芳子  
文化財課長 山口 耕一  
スポーツ振興課長 若林 毅  
教育総務課長補佐 齋藤 英子  
学校教育課主幹兼指導主事 稲葉 亜希恵  
学校教育課主幹兼指導主事 土田 礼巳  
学校教育課主幹兼指導主事 佐々木 功一  
教育総務課主事 岡野 祐衣
- 5 公開・非公開の別 公開(一部非公開)
- 6 傍聴者 3 人
- 7 報道機関 0 人
- 8 議事録(概要)作成年月日 令和元年8月20日
- 9 議 案  
議案第27号 下野市就学支援委員会委員の委嘱について  
議案第28号 令和2年度使用教科用図書採択について
- 10 報告事項  
(1) 令和元年第2回市議会定例会の報告について  
(2) 教育委員会後援等の承認について  
(3) 寄附の受け入れについて  
(4) とちぎっ子学習状況調査結果(速報)の報告について  
(5) 平成30(2018)年度下野市立図書館の評価結果について  
(6) 令和元年度 第14回下野市民体育祭テニール大会結果報告
- 11 その他

|       |  |
|-------|--|
| 池澤教育長 | <p>教育長挨拶及び報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月16日に市民体育祭ティーボール大会が開催された。詳細は後ほどスポーツ振興課長から報告していただく。</li> <li>・ 6月17日に国分寺中学校の共同訪問を実施した。</li> <li>・ 中学校区ごとに緊急防犯安全教室が行われた。6月21日は石橋北小学校において石橋中学校区、6月26日は薬師寺小学校において南河内中学校区、7月3日は国分寺中学校において国分寺中学校区、7月8日は南河内第二中学校を会場に南河内第二中学校区を対象として実施された。</li> <li>・ 6月27日に第1回仮称南河内義務教育学校設立準備委員会会議を実施した。</li> <li>・ 7月4日から5日に下都賀地区教育委員会連合会学事視察に参加し、八王子市立高尾山学園の取組と鎌倉市の防災教育について学習させていただいた。</li> <li>・ 7月6日に大松山運動公園においてB&amp;Gミニトライアスロン大会が実施された。</li> <li>・ 7月8日に臨時議会が開催された。</li> <li>・ 7月11日に薬師寺小学校共同訪問が実施された。</li> <li>・ 7月17日に緑小学校の学校訪問を実施した。</li> </ul> |
| 池澤教育長 | <p>以上の報告内容について質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>次に、議事録署名委員の指名 永山委員及び熊田委員<br/>     続いて、第3回教育委員会定例会議の議事録について確認をお願いする。</p> <p>議事録はこのとおり承認とする。<br/>     議案に入る旨を伝える。</p> <p>議案第27号については個人情報が含まれていることから、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項」の規定により非公開で行いたい。また報告事項(4)については、公表日が7月31日であることから、非公開で行いたい。各委員の意見をお伺いする。<br/>     (全委員異議なし)</p> <p>それでは当該議案、報告事項は非公開で行うこととする。<br/>     傍聴の方には一旦退出をお願いする。<br/>     (傍聴人が一旦退出する。)</p>   |
| 池澤教育長 | <p>議案第27号「下野市就学支援委員会委員の委嘱について」説明を求める。</p> <p>以下、非公開。</p>   |
| 池澤教育長 | <p>このとおり決定してよろしいか。(全委員承認)</p> <p>それでは、議案27号は原案どおり決定する。<br/>     ここで会議の非公開を解く。傍聴人の入室を許可する。</p>  |

|                 |   |
|-----------------|---|
| <p>田澤学校教育課長</p> | <p>続いて、議案第28号「令和2年度使用教科用図書の採択について」説明を求める。</p> <p><b>【説明要旨】</b></p> <p>令和元年5月30日付けで、令和2年度に使用する小中学校教科用図書、学校教育法附則第9条に規定する小中学校特別支援学級用教科用図書の選定について、下野市立小中学校教科用図書選定委員会へ諮問を行ったが、本日、当該委員会より選定結果の答申があったので、その採択について提案するものである。</p> <p>詳細については、稲葉指導主事より説明を行う。</p>   |
| <p>稲葉指導主事</p>   | <p><b>【説明要旨】</b></p> <p>資料「令和2年度使用教科用図書調査報告書」に基づき選定の概要説明を行う。変更のなかったものについては説明を省かせていただき、新しく選定された図書のみ説明する。資料の青字のものが新しく選定されたものである。</p> <p>まず、小学校特別支援学級用教科用図書について報告を行う。</p> <p><b>【小学校特別支援学級用教科用図書】</b></p> <p>一般図書として新たに取り入れたものについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○英語：『くもんのシールでワーク英語絵じてん』（くもん出版社） <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な英単語や簡単な英会話が中心の内容になっており、文章表現は、ふりがなが振られ、分かりやすく簡潔である。</li> <li>・付属のCDやシール等の活用により、児童の興味関心を高めることができる。</li> </ul> </li> <li>○英語：『リズムでおぼえるえいかいわ』（新興出版社） <ul style="list-style-type: none"> <li>・付属のCDで音を聴いて覚えたり、分かりやすいイラストで視覚からも情報を吸収したりすることができる。</li> </ul> </li> <li>○道徳：『いちばんはじめのマナーえほん』（偕成社） <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣やマナーを楽しく身に付けられるとともに、発達段階に応じた内容となっており、自分で「できる」「やりたい」という気持ちを後押しする。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【中学校特別支援学級用教科用図書】</b></p> <p>一般図書として新たに取り入れたものについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会科：『描いて覚える中学歴史』（旺文社） <ul style="list-style-type: none"> <li>・語句やキーワードなどの文字を書くだけでなく、歴史に登場する物や建築物、人物などの特徴が端的に表されたイラストも一緒に描くことで理解が深まりやすいと考えられる。</li> <li>・解説のイラストが塗り絵状になっているので、色を塗ることを楽しみながら学習できる。</li> </ul> </li> <li>○社会科：『描いて覚える中学公民』（旺文社） <ul style="list-style-type: none"> <li>・予め整理された内容に語句やイラストを書き込むことで、情報を整理することが苦手な生徒にも取り組みやすく、自分のペースで学習を進めることができる。</li> </ul> </li> <li>○家庭科：『はじめてでもおいしい！楽しい！10歳からのお料理教</li> </ul> |

|                |  |
|----------------|--|
|                | <p>室』（日東書院）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報量が多すぎず、レイアウトや配色も工夫されており、完成までの流れがイメージしやすいレイアウトである。</li> <li>・お米の研ぎ方など、調理の基礎的・基本的な内容が分かりやすく示されているとともに、メニューも生徒にとって身近で作りやすいものが掲載されており、作ってみたいという意欲を高めることができると考えられる。</li> </ul> <p>協議の中では、小学校用英語で選定された本については、音やリズムで慣れ親しむことは、大変効果的に学習に取り組めるのではないかという意見が出された。</p> <p>また、中学校社会で選定された2冊の本については、書いてまとめながら自分の参考書を作り上げていくような感覚で取り組むことができ、大変使いやすいのではなかという意見が出された。</p>  |
| 池澤教育長<br>熊田委員  | <p>質疑等はあるか。</p> <p>『リズムで覚える英会話』について、実際にどのようなリズムが出てくるのか教えていただきたい。</p>   |
| 稲葉指導主事<br>永山委員 | <p>例えば手拍子に合わせて発音する。</p> <p>チャンツという一定のリズムに合わせて英語を覚えることが流行している。英語はアクセントやイントネーションがはっきりしているので、リズムに乗せて覚えていくことはとても良いことである。</p>   |
| 池澤教育長          | <p>他に意見はあるか。(特になし)</p>   |
| 稲葉指導主事         | <p>続いて小学校教科用図書「国語」と「書写」の選定結果について報告を行う。</p> <p><b>【小学校教科用図書「国語」】</b></p> <p>各教科書会社の特徴として報告されたものは以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○『東京書籍』の教科書について <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年、4月に「対話」「情報の扱い方」「音読」「図書館利用」についての単元を位置付け学習の基盤づくりができる。</li> <li>・学年に応じた「国語ノートの作り方」のページを設けることで、学習の仕方が身に付くよう工夫されている。</li> </ul> </li> <li>○『学校図書』の教科書について <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」の単元においては、4年以上の下巻冒頭に、比べ読みの教材が設定されている。</li> <li>・複数の文章を読み比べ、筆者の論の展開や主張を吟味したり、多面的に考えさせたりすることで、自分の立場を明確にし、意見を形成する力を養えるような工夫が見られる。</li> </ul> </li> <li>○『教育出版』の教科書について <ul style="list-style-type: none"> <li>・主として「話すこと・聞くこと」と「書くこと」で、領域を関連させて単元が構成されており、学びのゴールを意識して取り組むことができる。</li> </ul> </li> </ul> |

・図書館利用を活性化し、読書意欲を高めるページも特徴として挙げられた。

○『光村図書』の教科書について

・「読むこと」の単元において、学習の流れを示し、見通しをもって学習が進められるような構成となっている。

・「とらえよう、ふかめよう、まとめよう、ひろげよう」という学習過程に沿って課題を整理できる。

以上の報告を受けて、『光村図書』が教科用図書として選定された。

<選定の理由>

各単元の教材のねらいが明確に表記され、学年内・学年間を見通して、系統的・段階的に位置付けられており、習得と活用の繰り返しによって学習の定着を図る工夫がみられる。「何を」「どのように学ぶか」を明確にし、児童が主体的に学びを見通すことができる。

### 【小学校教科用図書「書写」】

各教科書会社の特徴として報告されたものは以下の通り

○『東京書籍』の教科書について

・これまでに学習した書写の力を「書写のかぎ」として、巻頭・巻末に載せることで、学びを振り返りながら学習できるように配慮されている。

・教科書の大きさが半紙の縦横の比率に合わせて変型版になっており、半紙での文字の配置が分かりやすい。

○『学校図書』の教科書について

・各単元の授業展開を「確かめて書こう」「考えて書こう」「生かして書こう」の三行程に色分けして学習パターンを示している。

・単元の最後に「ふり返ろう」を設け、身に付いたことが実感できるよう工夫されている。

○『教育出版』の教科書について

・筆記具の正しい持ち方や、正しい姿勢を習慣化できるよう、合い言葉などを掲載する工夫が見られる。

・他教科や様々な生活場面で生かせるよう、原稿用紙やノート、手紙の書き方、メモの取り方などの教材も取り上げられている。

・図書館利用を活性化し、読書意欲を高めるページがある。

○『光村図書』の教科書について

・運筆や文字の組立てなどの学習要素をイラストや図で示したり、2種類の書き方の例示を比べて考察させたり、具体的な内容が掲載されているとともに、動画コンテンツにより、書くときの姿勢や筆順の動画など、視覚的に分かりやすく示す工夫が見られる。

○『日本文教出版』の教科書について

・学習の手順が、「①考える②確かめる③いかす」段階を踏みながら学習できるよう単元全体が構成されている。

・学習のはじめに自分の課題を見付け、解決方法を考えることにより、

|  |   |
|--|---|
|  | <p>最終的には自ら考えた内容を書く力を育むことができるような工夫が見られる。</p> <p>以上の報告を受けて、『光村図書』が教科用図書として選定された。<br/>     &lt;選定の理由&gt;</p> <p>「学習の進め方」において『文字の書き方の原理・原則を「考える」、毛筆で書いて「確かめる」、硬筆に「生かす』』という学習の流れを明確に示し、児童が見通しをもって学習に取り組めるように構成されている。また、基本的事項を確認しながら発展的学習へと段階的に学習できるような単元構成になっていることが特徴であり、イラストや動画などを用いてイメージ化を図っていることも基礎基本の理解に有効である。</p> <p>質疑等はあるか。</p> <p>国語について、教科用図書選定委員会で選定された『光村図書』は読み物が豊富である。また、どの出版社も取り上げている話があるが、『光村図書』の挿絵は情感豊かであるという印象を受けた。子どもたちの読解に適している。</p> <p>書写について、習字を3年生から始めることになるが、最近、習字を教えらる先生が減ってしまっていると感じている。『光村図書』は、書き方のコツが一番分かりやすく良いと思う。</p> <p>国語について、『光村図書』はイメージが膨らむ挿絵になっていて良いと思う。書写については、『光村図書』は、姿勢を大切にしているところが良いと思った。</p> <p>他に質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>続いて小学校教科用図書「社会」と「地図」の選定結果について報告を行う。</p> <p><b>【小学校教科用図書「社会」】</b></p> <p>各教科書会社の特徴として報告されたものは以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○『東京書籍』の教科書について       <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決的な学習の「つかむ」「調べる」「まとめる」「生かす」学習段階が各ページに明示されている。</li> <li>・社会への関わり方を「選択・判断」する単元では、キャラクターを活用し、複数の考え方や立場を提示し、児童が多角的に考えることができるよう工夫されている。</li> </ul> </li> <li>○『教育出版』の教科書について       <ul style="list-style-type: none"> <li>・「この時間の問い」と「次につなげよう」で一単位時間のスタートとゴールが明示されていることで、児童が学習の見通しをもつことができる。</li> <li>・3年生の教科書では、一単位時間の活動内容を明記し、社会の学習が初めての3年生に学習の見通しをもたせるような配慮がされている。</li> </ul> </li> <li>○『日本文教出版』の教科書について</li> </ul> |
|--|---|

- ・キャラクターの吹き出しを効果的に使い、児童の思考を進めたり深めたりしている。
- ・「つかむ」段階で立てた学習問題を解決した後、生じた疑問を「さらに考えたい問題」として設定することで、学習を深めるような工夫がされている。

以上の報告を受けて、『東京書籍』が教科用図書として選定された。  
 <選定の理由>

問題解決的な学習の「つかむ」「調べる」「まとめる」「生かす」の学習段階が各ページに明示されている。また、分冊になっており、以前と比べて1冊分の重さも軽くなっている。

協議では、分冊であることの弊害はないか、つまり、学びを確認することができなくなる懸念があるのではないか、との質問があったが、今までの学習を振り返って確認するページがあるため、心配はないとの回答があった。

#### 【小学校教科用図書「地図」】

各教科書会社の特徴として報告されたものは以下の通り

##### ○『東京書籍』の教科書について

- ・キャラクターを多く登場させ、その吹き出しによって、地図活用の手がかりを示すとともに、巻頭に絵地図を多く提示し、地図帳の使用を始める3年生の発達段階を意識した構成となっている。

##### ○『帝国書院』の教科書について

- ・土地の高低を色で表すとともに、立体感のある地図表現になっている。
- ・地図の活用の仕方を学ぶ「地図マスターへの道」というコーナーがあり、児童は地図の様々な活用の仕方を楽しく学ぶことができる。

以上の報告を受けて、『帝国書院』が教科用図書として選定された。  
 <選定の理由>

今回の学習指導要領から、地図帳は3年生から使用することとなる。地図帳は単に国や都市の位置を知るためだけのツールではなく、様々な情報が掲載されており、多様な活用ができるかどうか調査研究の観点となった。

質疑等はあるか。

地図について、『東京書籍』は、地図は高いところから見て作るという成り立ちが書かれていて分かりやすいと思う。また、日本や世界の比較が書いてあるところも良いと思う。『帝国書院』は、地図の見方をしっかり示している。

社会について、第二次世界大戦の終わりの頃について、出版社によって書き方が異なるが、細かい部分については授業の際に先生方に補足し

池澤教育長  
熊田委員

|                            |   |
|----------------------------|---|
| <p>池澤教育長</p> <p>稲葉指導主事</p> | <p>て教えていただきたい。</p> <p>他に質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>続いて小学校教科用図書「算数」の選定結果について報告を行う。</p> <p><b>【小学校教科用図書「算数」】</b></p> <p>各教科書会社の特徴として報告されたものは以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○『東京書籍』の教科書について <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年最初の単元ではA判化されており、ブロックを乗せやすいように綴じ方が改良され、数の学習がスムーズに行えるよう工夫されている。</li> <li>・第2学年以上の巻末「ほじゅうのもんだい」では、各単元の練習問題と関連付けて補充的な問題と発展問題が学習できるよう工夫されている。</li> </ul> </li> <li>○『大日本図書』の教科書について <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年1冊の合本とし、学年はじめに1年間の学習内容を見通して計画を立てることができる。</li> <li>・全学年に「読み取る力をのぼそう」を設け、長文や統計資料から情報を読み取ったり根拠を説明したりすることで、思考力・判断力・表現力を伸ばすことができるよう工夫されている。</li> </ul> </li> <li>○『学校図書』の教科書について <ul style="list-style-type: none"> <li>・「割合」などつまずきやすい単元を2つに分け、学び直す機会を設けるとともに、概念の理解が難しい「倍」を特設単元として扱って重点的に学習できるよう工夫されている。</li> <li>・算数で必要となる考え方を9体のモンスターで表し、楽しみながら見方・考え方を身に付けられるような工夫がされている。</li> </ul> </li> <li>○『教育出版』の教科書について <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が「問い」をもち、学びを通して「なるほど」と振り返り、更に「～だったら」と考えを深めていく学習過程が設定されている。</li> <li>・巻末の「学びの手引き」では、作図の仕方を示したり、『算数のミカタ』として、どのような数学的な見方・考え方を使ったかが分かるよう示したりして、単元や学年を超えて繰り返し学べるよう工夫されている。</li> </ul> </li> <li>○『啓林館』の教科書について <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての単元にQRコンテンツが掲載され、QRコードを読み取ることで、家庭や外出先でも手軽に復習することができるよう工夫されている。</li> <li>・問題解決的な学習の過程では、テープ図・線分図・数直線図・関係図を各学年で系統的に扱い、関連させて考えることができるよう工夫されている。</li> </ul> </li> <li>○『日本文教出版』の教科書について <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵や図を、徐々に具体物・半具体物から抽象化された図へ、発達段階と系統を考慮して提示し、立式や計算の仕方などを考え理解する手立てとなるよう工夫されている。</li> <li>・切り取って使える「学び方ガイド」を教科書と一緒に使うことによ</li> </ul> </li> </ul> |
|----------------------------|---|

|                       |   |
|-----------------------|---|
|                       | <p>り、算数の学び方が身に付けられるように工夫されている。</p> <p>以上の報告を受けて、『東京書籍』が教科用図書として選定された。<br/>       &lt;選定の理由&gt;<br/>       児童の思考の流れに沿った学習が進められるよう配慮されている。また、単元の導入が丁寧に扱われている。<br/>       導入や単元末の「いかしてみよう」で取り上げられている題材が児童にとって身近で、興味のわく内容となっている。</p>  |
| <p>池澤教育長<br/>永山委員</p> | <p>質疑等はあるか。</p> <p>『東京書籍』の目次の部分に、「前の学習・後の学習」ということで、今学習している単元の関連性が見えるように工夫されている。何年生のときに関連した学習をしたのか、また、この後何年生で関連する学習をするのかを確認することができる。これは、保護者が子どもの勉強を見てあげるときにも役に立つ。</p>  |
| <p>三橋委員</p>           | <p>ノートをきれいに残しておくことで後で見直しやすいため、ノートの取り方が書いてあっていいと思った。</p>   |
| <p>熊田委員</p>           | <p>『東京書籍』の、ブロックを乗せやすいようにA判化されて綴じ方が改良されている点が工夫されていて良いと思った。</p>   |
| <p>池澤教育長</p>          | <p>他に質疑等はあるか。(特になし)<br/>       続いて小学校教科用図書「理科」の選定結果について報告を行う。</p>   |
| <p>稲葉指導主事</p>         | <p><b>【小学校教科用図書「理科」】</b><br/>       各教科書会社の特徴として報告されたものは以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○『東京書籍』の教科書について           <ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生では、主体的な学びを引き出す視点から、単元のはじめに写真や漫画等が提示され、児童の主体的な学びを促す工夫が見られる。</li> <li>・6年生では、「理科の見方・考え方」を働かせることの視点から、「理科のミカタ」が掲載され、実験の条件について意識しながら学習が進められるよう配慮されている。</li> </ul> </li> <li>○『大日本図書』の教科書について           <ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生では、対話的な学習を重視する視点から、結果から考察できることを話し合っている児童のイラストが描かれ、対話により、学びが深まる工夫が見られる。</li> <li>・4年生では、自然の事物・現象についての科学的な理解を図る視点から、単元末に「学んだことを生かそう」を設け、学んだ知識と身近な生活との関わりを考える問題を取り上げ、自分の言葉で表現できるよう工夫されている。</li> </ul> </li> <li>○『学校図書』の教科書について           <ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生では、主体的な学びを重視する視点から、単元冒頭で、身に付けたい「資質・能力」を3つに焦点化して明示し、主体的に学びが進められるよう工夫されている。</li> <li>・4年生では、単元の構成、配列、系統性について、この学習が理科の問題解決の過程のどの部分にあたるかをページの下に示し、見通</li> </ul> </li> </ul> |

|               |  |
|---------------|--|
|               | <p>しをもって進んで学習できるように配慮されている。</p> <p>○『教育出版』の教科書について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生では、主体的な学びを重視する視点から、単元ごとに主人公を設定し、問題を解決していく姿を通して、児童が主体的に学習を進められるよう配慮されている。</li> <li>・6年生では、単元末に「確かめ」があり、学習内容の確認とともに、既習事項や身近な自然現象と関連付けて説明する場面を設定している。</li> </ul> <p>○『啓林館』の教科書について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生では、問題解決の力を養う視点から、単元の導入で、学習する対象に焦点が当てられた写真が見開きで大きく掲載され、児童自ら学習課題を見出せるような工夫がある。</li> <li>・4年生では、主体的な学びを重視する視点から、問題解決の過程をフラッグとラインでつなぐことで問題解決の流れが一目で分かるようにし、見通しをもって学習できるよう工夫されている。</li> </ul> <p>以上の報告を受けて、『啓林館』が教科用図書として選定された。</p> <p>&lt;選定の理由&gt;</p> <p>問題解決の過程がわかりやすく作られている。また、ユニバーサルデザインフォントにより、見やすい。そして、QRコードにより前学年までの復習や器具の使い方、まとめについて写真や動画を見ながら効果的に学習できる。</p> |
| 池澤教育長<br>熊田委員 | <p>質疑等はあるか。</p> <p>全体に共通して、QRコードで実験や器具の使い方等について見られることは役に立つと感じた。</p>  |
| 永山委員          | <p>また、『啓林館』については、フラッグとラインでつながっているので分かりやすいと感じた。</p>   |
| 三橋委員          | <p>『東京書籍』については、巻末に昆虫切り紙がついており、理科が嫌いな子どもや虫嫌いな子どもでも、親しみを持てる教材で良いと思う。</p>   |
| 熊田委員          | <p>『東京書籍』は、良い写真が多く、目で見て分かりやすいので、インパクトのある教科書であると思った。</p>  |
| 池澤教育長         | <p>『啓林館』は、高学年の実験方法がとても分かりやすく書かれていると感じた。</p>  |
| 熊田委員          | <p>インターネットの使い方について、『啓林館』は、各ページにQRコードがあり、その場で確認できるので非常に便利である。</p>   |
| 池澤教育長         | <p>他に質疑等はあるか。(特になし)</p>  |
| 稲葉指導主事        | <p>続いて小学校教科用図書「生活」の選定結果について報告を行う。</p> <p>【小学校教科用図書「生活」】</p>  |
|               | <p>各教科書会社の特徴として報告されたものは以下の通り</p> <p>○『東京書籍』の教科書について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末の切り離して使える「ポケットずかん」の他に、各単元の中でも自然の様子やおもちゃの作り方などの資料を提示し、児童の主体</li> </ul>  |

- 的な活動を促すよう配慮されている。
- ・単元の最後の「やってみよう」では、思考を促す学習活動を掲載し、深い学びにつながる工夫が見られる。
- 『大日本図書』の教科書について
- ・低学年児童にとって身近で親しみやすい対象や、興味・関心をもてる活動が取り上げられている。児童の実態に合わせ、絵や言葉だけでなく、多様な方法で表現を楽しむ場面を例示したり、ペアやグループなどの交流場面が設けられたりしている。
- 『学校図書』の教科書について
- ・写真やイラスト、キャラクターと吹き出しを効果的に使い、活動の楽しさを伝えることで、主体的に活動できるよう工夫されている。
  - ・巻末には「ものしりノート」や「学び方図かん」が設けられており、児童が自ら学習を発展させていくことができるよう工夫されている。
- 『教育出版』の教科書について
- ・「ヒント」や「はってん」巻末に「学びのポケット」を配置し、補足的・発展的な学習に繋がる工夫が見られる。
  - ・「導入」「活動」「振り返り」の展開が分かるデザインになっており、思考力を磨くヒントや約束、安全面についての情報も掲載されている。
- 『光村図書』の教科書について
- ・單元ごとに「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3部構成形式で、児童にとって親しみやすい対象や活動例を取り上げるとともに、学習したことを応用したり、発展させられるようにしたりするなど、学習のねらいや流れが分かりやすく提示されている。
  - ・色で答える学習活動を設定しないなど、色覚障害への対応にも配慮されている。
- 『啓林館』の教科書について
- ・各單元「わくわく」「いきいき」「つたえあおう」の3段階構成となっており、單元を通して活動を深める工夫がある。
  - ・自分の考えや思いを書き込めるスペースを設け、児童が主体的に学習できるように配慮されるとともに、巻末にある「がくしゅうずかん」では、調べ方・まとめ方・話し合いの仕方が提示されている。
- 『日本文教出版』の教科書について
- ・学びの連続性を重視し、下巻冒頭には2年生におけるスタートカリキュラムが掲載されている。
  - ・巻末には学習に必要な知識及び技術、習慣の習得に役立つ「ちえとわざのたからばこ」があり、各教科との関連が図られている。
  - ・防災指導に加え、動植物アレルギー、食物アレルギーへの配慮など「日常の安全」への配慮が見られる。

以上の報告を受けて、『東京書籍』が教科用図書として選定された。  
<選定の理由>

|                        |  |
|------------------------|--|
|                        | <p>下巻にある「学びを深めるコーナー」では、友達と対話しながら試行錯誤する様子や、伝え合いを通して新たな気づきが生まれる様子などを具体的に示し、対話を通して深い学びが実現できるよう配慮されている。また、発達の段階や特性を踏まえ、育成する資質・能力などが、上下巻で段階的に高まるように、単元の構成が工夫されている。</p>  |
| <p>池澤教育長<br/>石嶋委員</p>  | <p>質疑等はあるか。<br/>選定委員会において、イラストの効果や見やすさは議論になっているのか。</p>   |
| <p>稲葉指導主事</p>          | <p>生活科に限らず、議論になっている。キャラクターを使って興味関心を高めているかどうかは、他の教科でも注目されている。</p>   |
| <p>石嶋委員<br/>稲葉指導主事</p> | <p>子ども受けするキャラクターかどうかまで考えているのか。<br/>先生方からは、モンスターなどは、楽しく学ぶことができるのではないかという意見が出ている。</p>  |
| <p>熊田委員</p>            | <p>低学年の教科書にもメールの送り方やネットのことが書いてあるところが、印象的であった。今の時代には、必要性があるので入れているのだろうと思った。</p>   |
| <p>池澤教育長</p>           | <p>他に質疑等はあるか。<br/>続いて小学校教科用図書「音楽」の選定結果について報告を行う。</p>   |
| <p>稲葉指導主事</p>          | <p><b>【小学校教科用図書「音楽」】</b><br/>各教科書会社の特徴として報告されたものは以下の通り<br/>○『教育出版』の教科書について<br/>・全学年共通の楽曲が取り上げられており、全校で演奏できるよう工夫がされている。<br/>・表現活動の教材においては、あえて強弱記号を入れず、児童が思いや意図をもって幅広い表現ができるよう工夫されている。<br/>・透明シートなどで、音楽の基礎的な知識の理解が深まる工夫もされている。<br/>○『教育芸術社』の教科書について<br/>・表現、鑑賞、音楽づくりの活動において、児童が主体的に学ぶヒントがイラストや図、吹き出しを使って示されている。<br/>・巻末には、音楽を形づくっている要素や「音符・休符・記号や用語」が見開き1ページにまとめられていて、児童にとっても、わかりやすい構成となっている。</p> <p>以上の報告を受けて、『教育芸術社』が教科用図書として選定された。<br/>＜選定の理由＞<br/>身の回りで見つけた音を音楽作りの学習と関連付ける活動を取り入れ、日常生活と音楽の学習のつながりに気付くことができる工夫が見られる。また、鍵盤ハーモニカやリコーダーの指の使い方など、楽器の奏法について分かりやすく説明されている。<br/>個に応じた指導や、音楽づくりに取り組みやすいような工夫がされている。</p> |

|   |   |
|---|---|
| <p>池澤教育長<br/>熊田委員<br/>稲葉指導主事<br/>熊田委員</p> | <p>質疑等はあるか。<br/>現在小学校で使用しているのは教育出版か。<br/>そのとおりである。<br/>『教育出版』は、丁寧にルビがふってあるので、入学したばかりの1年生にも分かりやすいと思った。<br/>また、国歌「君が代」のページについて、『教育出版』は説明が丁寧で、和風なところが良いと思った。</p>   |
| <p>三橋委員</p>                               | <p>リコーダーのページについて、2社を見比べてみたが、『教育出版』は小さめに書かれていると感じた。</p>  |
| <p>石嶋委員</p>                               | <p>どちらの出版社にも同じ曲が入っているのを見て、出版社間の連携も良いと感じた。</p>   |
| <p>池澤教育長<br/><br/>稲葉指導主事</p>              | <p>他に質疑等はあるか。<br/>続いて小学校教科用図書「図画工作」の選定結果について報告を行う。<br/><b>【小学校教科用図書「図画工作」】</b><br/>各教科書会社の特徴として報告されたものは以下の通り<br/>○『開隆堂出版』の教科書について<br/>・表紙に児童の作品と楽しい造形活動をイメージできるタイトルがあり、児童の心を引きつける。<br/>・使用する用具や材料を併記したり、単元の終わりに、振り返りのチェックで活動を振り返ることができるようになっていたり、児童が主体的に取り組めるようになっている。<br/>○『日本文教出版』の教科書について<br/>・吹き出しを用いて、考えを促す言葉やアドバイス、工夫したい点などが表記され、児童が主体的に活動に取り組めるようになっている。<br/>・題材ごとに安全に気を付ける点が、マークで明確に示されている。<br/>・作品を家庭や学校の中に飾ったり置いたりしている様子を示し、家庭生活の視点も大切にしている。</p> <p>以上の報告を受けて、『開隆堂出版』が教科用図書として選定された。<br/>＜選定の理由＞<br/>「みんなのギャラリー」では、全国各地の特色を生かした活動や展示の例が紹介されていて、栃木県も紹介されている。また、外国語活動との関連として、図画工作で使う英単語がQRコードを通して音声で聞くことができることが評価できる。</p> |
| <p>池澤教育長<br/>熊田委員</p>                     | <p>質疑等はあるか。<br/>昔の教科書は美術作品が多かったが、最近では子どもの作品が多く載っている。親しみを持ちやすいのかもしれないが、自分で作りたかった物が既に出てしまっているということにはならないか。</p>  |
| <p>稲葉指導主事</p>                             | <p>例示があるのは良いことか悪いことかという議論はあったが、アイデアが出ない子にとっては良いという意見も出た。</p>  |
| <p>池澤教育長</p>                              | <p>他に質疑等はあるか。(特になし)<br/>続いて小学校教科用図書「保健」の選定結果について報告を行う。</p>  |

【小学校教科用図書「保健」】

○『東京書籍』の教科書について

- ・児童が書き込む欄が多く、単元末の「まとめる・生かす」の学習活動は、キーワードを入れると単元で学んだことが網羅でき、考えを言語化できるよう工夫されている。
- ・「けがの防止」の単元では、胸骨圧迫など実践的な内容の資料が掲載されていて、今後の生活の中で生かせる内容となっている。

○『大日本図書』の教科書について

- ・単元始めの扉絵には、人物探しゲームが用意され、学習内容を意識して単元に入ることができるよう工夫されている。
- ・「けがの防止」の単元では、具体的な地域の事例を取り上げ、身近なこととして感じられるように配慮されている。

○『文教社』の教科書について

- ・有名スポーツ選手のメッセージを掲載し、児童が興味関心、意欲を持って学習できるように工夫されている。
- ・自己決定を促す内容、災害が起こった際の自助・公助・共助を理解できる内容など、そのときにどう動けばいいのかを具体的に示している資料が掲載されている。

○『光文書院』の教科書について

- ・単元末の資料では、スポーツの加熱に警鐘を鳴らしたり、運動技能を紹介したりと運動領域との関連が顕著である。
- ・4コママンガの導入や著名人のインタビューなど、興味を持たせる資料を掲示するとともに、重要な言葉にはQRコードが付いていて、読み込むことによって動画で復習できる。

○『学研』の教科書について

- ・成長に伴う手の骨の変化や脳の活動の様子を特殊な色づけにするなど、児童が見て分かりやすい内容である。
- ・学級活動と関連して取り扱うことも可能。
- ・学習を進めていく上で児童が自分の経験や考えを書き込みながら学習に取り組めるよう工夫されている。

以上の報告を受けて、『東京書籍』が教科用図書として選定された。

<選定の理由>

喫煙・飲酒・薬物乱用など薬物の害について正しい認識と誘惑に負けない心情を培えるような内容が充実しているか、生活習慣病の因果関係が分かりやすく、日々の生活習慣と密接に関連しているか、実感を伴い、自分の体の変化に向き合った学習を促す工夫があるか、という点からの調査研究を受けて選定された。

池澤教育長

質疑等はあるか。

永山委員

『光文書院』には、歩きスマホの危険性や車の内輪差の危険性まで言及しており、写真付きで詳しく説明されていて素晴らしいと思った。

熊田委員

永山委員がおっしゃったページもQRコードで見られるので、良いと

|        |   |
|--------|---|
| 石嶋委員   | 思った。  |
| 熊田委員   | 3、4年生で思春期の体の変化について出てくるが、使っている言葉が難しいので理解してもらえるのだろうか。   |
| 池澤教育長  | 自分の子どもの様子を見ていると、難しい言葉もすんなり入っている印象である。   |
| 稲葉指導主事 | 他に質疑等はあるか。(特になし)<br>続いて小学校教科用図書「家庭」の選定結果について報告を行う。<br>【小学校教科用図書「家庭」】<br>各教科書会社の特徴として報告されたものは以下の通り<br>○『開隆堂出版』の教科書について<br>・実習や製作などの手順は大きく、全て横流れのデザインで統一されているため、見やすくなっている。<br>・内容A「家庭・家庭生活」では、日常生活の中から問題を見いだし課題を設定し、よりよい生活を考え計画できるように、「生活の課題と実践」コーナーを設けたり、B「衣食住の生活」では手縫いの手順などが見やすく示されたりしている。内容C「消費生活・環境」では、消費者教育について他教科と関連付けて取り扱い、消費者としての実践的態様が身につけられるように工夫されている。<br>○『東京書籍』の教科書について<br>・内容Aでは、家族や地域の一員という自覚をもち家族や地域のために自分に何ができるかを考えられるよう、問題解決的な学習となっており、内容Bでは、実際の食材を切ったものの実寸写真を掲載し、子どもが自立して生活できる姿を目指した内容となっている。内容Cでは、「持続可能な社会の構築」を重視し消費者としての基本的な知識や態度が身につくよう配慮されている。 |
| 池澤教育長  | 以上の報告を受けて、『開隆堂出版』が教科用図書として選定された。  |
| 永山委員   | <選定の理由><br>実習や製作などの手順が、全て見開き1ページに集約されているので見やすい。また、QRコードにアクセスすると、手縫いの動画などが閲覧できるため、児童が繰り返し確認できる。  |
| 石嶋委員   | 質疑等はあるか。  |
| 稲葉指導主事 | 『東京書籍』は、実物大の写真が出ていて、子どもたちがイメージしやすい点が優れている。また、QRコードについては、各ページに付いてすぐに確認できる『開隆堂出版』が優れている。  |
| 永山委員   | 報告書について、家庭科だけ他の教科にはない細かい項立てがされているが、これは特に調査員の方が意識して分析して下さったということなのか。<br>学習指導要領で、内容が大きくA、B、Cに分かれていることが特徴であり、混ぜてしまうと混乱してしまうのではないかとということで、分けてもらった。<br>両方の教科書に共通することであるが、家庭科という教科の位置づけ   |

|                            |  |
|----------------------------|--|
| <p>池澤教育長</p> <p>稲葉指導主事</p> | <p>について説明している。家庭科は、他の教科に比べると、重要性が理解されていないところがあるので、これから生きていくうえでどのような時に役に立つのかが書いてあることは、素晴らしい。</p> <p>他に質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>続いて小学校教科用図書「英語」の選定結果について報告を行う。</p> <p>【小学校教科用図書「英語」】</p> <p>各教科書会社の特徴として報告されたものは以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○『東京書籍』の教科書について <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の流れが明確になっている点が挙げられた。また単元ごとの目標や、1時間ごとの目標だけでなく、スモールトークや授業の流れも明記されている。また、別冊「Picture Dictionary」や巻末にも、絵カードやワークシートがあるなど、児童にとって使いやすいことが特徴として挙げられた。</li> </ul> </li> <li>○『開隆堂出版』の教科書について <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞く・話す活動が充実しており、単元の始まりはリスニング活動から入り、自然と話す活動へつながるよう構成されている。</li> <li>・身近な題材を用いているため、児童が興味関心をもちやすい。</li> <li>・教室での活動イラストが多いため、活動が想像しやすく、見通しがもてる。</li> </ul> </li> <li>○『学校図書』の教科書について <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターが登場し、児童は親しみをもちながら学習を進めることができる。</li> <li>・教科書全体としても配色が落ち着いており、各単元の最後には、「Use &amp; Check」として、「話す」「聞く」だけでなく、「書く」活動が意図的に配置されている。</li> </ul> </li> <li>○『三省堂』の教科書について <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した知識及び技能を統合的に活用する学習が位置付けられている。</li> <li>・コミュニケーション活動だけでなく、「JUMP Presentation」という単元が設定され、既習事項を用いて統合的に活用する力が児童に身に付くと考えられる。</li> <li>・必然性のある場面設定が随所に入っている。</li> </ul> </li> <li>○『教育出版』の教科書について <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞いて慣れ親しむ活動から表現活動へと、言語活動がスムーズに行えるよう工夫されている。</li> <li>・初めて耳にする英語を文字に頼らず、音声のみで捉え、推測しながら考えられるように配慮されている。</li> <li>・学校生活と関連したテーマが多く取り入れられている。</li> </ul> </li> <li>○『光村図書』の教科書について <ul style="list-style-type: none"> <li>・Unit が Hop、Step、Jump という流れで構成され、各ページの情報量が充実している。また Unit ごとのゴールが示され、毎時間課題を意識した学習ができるよう工夫されている。</li> <li>・「Fun Time」では、文字遊びや歌などを通して英語に親しみ、</li> </ul> </li> </ul> |
|----------------------------|--|

|               |   |
|---------------|---|
|               | <p>「Review 世界の友達」では、世界の小学生の声を聞き、学んだ表現をふり返れるように配慮されている。</p> <p>○『啓林館』の教科書について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストや写真が効果的に掲載されている。特に、「Let's Read and Write」では、アルファベットを書きながら、文字と音との関係に気付けるよう工夫されている。</li> <li>・外国の文化や習慣などが紹介されているページもあり、2つの意味をもつ記号や、英語ではない外来語等も取り上げられている。</li> </ul> <p>以上の報告を受けて、『教育出版』が教科用図書として選定された。</p> <p>&lt;選定の理由&gt;</p> <p>実際に英語を使う場面や目的が意識されたコミュニケーション活動が設定されているか、聞いて慣れ親しむ活動から表現活動へと言語活動が行えるよう配慮されているか、ねらいや単元のゴールが明確に示されているかという点からの調査結果を受け、選定された。</p> |
| 池澤教育長<br>石嶋委員 | <p>質疑等はあるか。</p> <p>Unit や Lesson は単元として考えられていると思うが、1単元は何時間扱いで授業を行っているのか。</p>  |
| 稲葉指導主事        | <p>現在使っている教科書は、5、6年生が1単元約8時間扱い、3、4年生が1単元約4時間扱いである。</p>  |
| 石嶋委員          | <p>教科書によって時間の配分が異なると思うが、使いやすさの点で、先生方の間で議論にはならなかったのか。</p>  |
| 稲葉指導主事        | <p>特に議論はされなかった。ベースとしては見開きで2時間程度使うことが想定されて作られている物が多いと感じている。</p>  |
| 永山委員          | <p>『教育出版』は、材料として使えるようになっている教科書なので、授業においてアレンジして使用することが可能であると思う。</p>  |
| 熊田委員          | <p>『教育出版』は、「まなびリンク」というQRコードになっており、使いにくいのではないかと思ったが、そのような意見は出なかったか。</p>  |
| 稲葉指導主事        | <p>選定委員会では、QRコードの内容について差があるのかという質問もあったが、調査員会ではその点に比重が置かれなかったようである。英語のリスニングは授業の中で行っているもので、特に話に出なかったと考えられる。</p>   |
| 池澤教育長         | <p>他に質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>続いて小学校教科用図書「道徳」の選定結果について報告を行う。</p>   |
| 稲葉指導主事        | <p>【小学校教科用図書「道徳」】</p> <p>各教科書会社の特徴として報告されたものは以下の通り</p> <p>○『東京書籍』の教科書について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの問題については直接教材を扱い、さらにいじめをしない許さない心を育てる間接教材を組み合わせた『ユニット形式』を採用し、系統的に学習できるよう工夫されている。</li> <li>・「問題を見つけて考える」や、「考えるステップ」のページでは、問題提起や話合いの流れを理解しながら、問題解決的な学習ができるよう工夫されている。</li> </ul>  |

- 『学校図書』の教科書について
  - ・全学年とも、「きづき」と「まなび」の2分冊で構成されている。「きづき」で教材と出会い、課題や自己とのかかわりに気づき、「まなび」で考え議論し深め合うことができる。
  - ・「こころのパレット」ページで道徳的課題の発見をしたり、自分の考えや友達の考えを記録したりすることで、考えを深められるように工夫されている。
- 『教育出版』の教科書について
  - ・「やってみよう」というモラルスキルトレーニング教材を取り上げたページが設定されており、体験的な学習を通して道徳的な行動が身に付けられるように工夫されている。
  - ・内容項目ごとに教材がまとめて掲載されており、連続して学習することで、道徳的価値について多面的・多角的に考え、学習内容の習熟が図られるよう工夫されている。
- 『光村図書』の教科書について
  - ・全学年において、情報モラル、いじめ問題、環境問題等について、「呼びかけ」と「教材」と「コラム」を組み合わせた「ユニット」が設定され、課題にじっくり向き合えるよう工夫されている。
  - ・「学びの記録」を活用し、児童は自分自身の学びや成長を振り返ることができる。
- 『日本文教出版』の教科書について
  - ・道徳ノートには、学習ごとに自分の考えを書く欄や、自由記述欄があり、自分以外の多様な見方や考え方に気付くことができるよう配慮されている。保護者記入欄も設けられており、家庭との連携が図れるような工夫が見られる。
- 『光文書院』の教科書について
  - ・年間35時間の教材以外に、各学年5～6点の教材を付加し、学校の実態に応じて多様な指導ができるよう構成されている。
  - ・教材の初めに「問い」が提示されており、問題意識をもたせる工夫見られる。
  - ・巻末に「学びの足あと」として授業記録欄があり、一年を通して自分の思いを表現できる。
- 『学研教育みらい』の教科書について
  - ・主体的に考え・議論する道徳の学習となるよう、あえて主題名を本文と出会う前に記載しないなど、特定の価値観を押し付けることなく、児童の問題意識を大切にする工夫が見られる。
  - ・問題解決的な学習の道筋を「学び方のページ」～深めよう～等で提示し、道徳的価値について多面的・多角的に考えたり、自分の生活や生き方につなげて考えたりすることができる。
- 『廣済堂あかつき』の教科書について
  - ・各学年に「別冊ノート」が付いており、児童が授業で感じたことや考えたことを記述できる欄が設けられている。
  - ・第1学年では、1学期に視点A「主として自分自身に関すること」

| <p>池澤教育長<br/>永山委員</p> <p>三橋委員<br/>石嶋委員</p> <p>熊田委員</p> <p>池澤教育長</p> <p>稲葉指導主事</p> <p>池澤教育長</p> | <p>の内容項目が連続して配置されており、他者よりも自分自身についての関心がより強い第1学年の発達段階に沿い、まず自分自身について深く考えることができるよう工夫されている。</p> <p>以上の報告を受けて、『学研教育みらい』が教科用図書として選定された。</p> <p>&lt;選定の理由&gt;</p> <p>主題名を本文中に示さないことで、特定の価値観にとらわれることなく、多様な考えが出やすい展開となるよう工夫されている点が評価され、選定された。</p> <p>質疑等はあるか。</p> <p>道徳の教科書を比較する上で、子どもたちが思考停止に陥らないかという点を重視した。最初に主題名があって、着地点が決まってしまうことは、道徳教育の弊害である。最初から着地点が示されておらず、子どもたちが自分の頭で考え、主体的に学ぶことができる『学研教育みらい』が優れている。</p> <p>考える時間が大切なので、主題は示さない方が良い。</p> <p>クラスの実態に応じて、幅を持って使えるという点からも、最初から主題を示さないという永山委員の意見に賛成である。</p> <p>『廣濟堂あかつき』は、別冊のノートにしっかり主題が書いてあった。少数意見も大切にしていけるよう、主題が示されていないほうが良い。</p> <p>他に質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>続いて、中学校教科用図書の採択について説明を求める。</p> <p><b>【説明要旨】</b></p> <p>「令和2年度使用 中学校用教科書選定一覧表」に基づき、選定された教科書について説明を行う。</p> <p>質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>それでは、これより採決に移りたい。採決の内容については非公開となるため、教育長と教育委員は別室に移動する。<br/>(教育長・教育委員が一旦退出する。)</p> <p><b>【採決 非公開】</b></p> <p>(ここで会議の非公開を解く。)</p> <p>議案第28号「令和2年度下野市立小中学校教科用図書の採択について」は、本日上程された原案のとおり、採択したことを報告する。</p> <p>・令和2年度使用小学校特別支援学級用教科用図書の採択一覧表</p> <table border="1" data-bbox="432 1868 1458 2000"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>書名</th> <th>発行者名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>英語</td> <td>くもんのシールでワーク 英語絵じてん</td> <td>くもん出版</td> </tr> </tbody> </table> | 科目    | 書名 | 発行者名 | 英語 | くもんのシールでワーク 英語絵じてん | くもん出版 |
|--|---|-------|----|------|----|--------------------|-------|
| 科目   | 書名  | 発行者名  |    |      |    |                    |       |
| 英語   | くもんのシールでワーク 英語絵じてん  | くもん出版 |    |      |    |                    |       |

|    |                |       |
|----|----------------|-------|
| 英語 | リズムでおぼえるえいかいわ  | 新興出版社 |
| 道徳 | いちばんはじめのマナーえほん | 偕成社   |

・令和2年度使用中学校特別支援学級用教科用図書の採択一覧表

| 科 目 | 書 名                             | 発行者名 |
|-----|---------------------------------|------|
| 社会  | 描いておぼえる中学歴史                     | 旺文社  |
| 社会  | 描いておぼえる中学公民                     | 旺文社  |
| 家庭  | はじめてでもおいしい！ 楽しい！<br>10歳からのお料理教室 | 日東書院 |

・令和2年度使用小学校教科用図書の採択一覧表

| 科 目  | 書 名   | 発行者名  |
|------|---|-------|
| 国語   | こくご一上かざぐるま、一下ともだち、<br>こくご二上たんぼぼ、二下赤とんぼ、<br>国語三上わかば、三下あおぞら、<br>国語四上かがやき、四下はばたき、<br>国語五銀河、国語六創造                     | 光村図書  |
| 書写   | しよしゃ一ねん、しよしゃ二年、<br>書写三年、書写四年、書写五年、書写六年  | 光村図書  |
| 社会   | 新しい社会3、4、5上、5下、6、<br>政治・国際編、歴史編   | 東京書籍  |
| 地図   | 楽しく学ぶ 小学校の地図帳   | 帝国書院  |
| 算数   | しょうがくさんすう1、<br>小学算数2上下、3上下、4上下、5、6  | 東京書籍  |
| 理科   | わくわく理科3、4、5、6   | 啓林館   |
| 生活   | あたらしいせいかつ上、新しい生活下   | 東京書籍  |
| 音楽   | 小学生のおんがく1、<br>小学生の音楽2、3、4、5、6   | 教育芸術社 |
| 図画工作 | ずがこうさく1・2上わくわくするね、<br>ずがこうさく1・2下みつけたよ、<br>図画工作3・4上できたらいいな、<br>図画工作3・4下力を合わせて、<br>図画工作5・6上心を開いて、<br>図画工作5・6下つながる思い | 開隆堂出版 |

|    |                                     |             |
|----|-------------------------------------|-------------|
| 家庭 | わたしたちの家庭科 5・6                       | 開隆堂出版       |
| 保健 | 新しいほけん、新しい保健                        | 東京書籍        |
| 英語 | ONE WORLD Smiles 5、6                | 教育出版        |
| 道徳 | 新・みんなのどうとく 1、2、3、<br>新・みんなの道徳 4、5、6 | 学研教育<br>みらい |

なお、中学校用教科用図書採択について、道徳以外は平成 27 年度に採択したもの、道徳は平成 30 年度に採択したものと同一教科用図書を採択したことを併せて報告する。

池澤教育長

続いて、報告事項に移ることを告げる。

報告事項（4）は非公開のため、順番を入れ替えて最後に行いたい。各委員の意見をお伺いする。（全委員異議なし）

（1）令和元年第 2 回市議会定例会の報告について説明を求める。

坪山教育次長

**【説明要旨】**

「令和元年第 2 回下野市議会定例会会期日程」及び「令和元年第 2 回下野市議会定例会一般質問通告一覧」等の資料に基づき、定例会の日程及び教育委員会に関連する一般質問と答弁内容について説明を行う。

**【説明の概要】**

○教育委員会事務局に関連する議案

- ・平成 30 年度下野市一般会計繰越明許費継続費繰越計算書の報告について

（東の飛鳥商標登録に係る経費・風土記の丘資料館の改修工事等の経費・大松山運動公園拡張整備事業に関する芝張り工事及び看板設置工事に係る経費）

○一般質問について

坂村議員：下野市の新しい時代の教育について

- ・指導要領の改訂内容について
- ・プログラミング教育の推進について
- ・AI 等の技術の進展による新たな時代に対応した教育について
- ・大津市の事件を踏まえた安全確保について

貝木議員：大松山運動公園について

- ・天然芝の維持管理費の削減策について
- ・ネーミングライツの導入について

池澤教育長

質疑等はあるか。

永山委員

ネーミングライツの導入について、下野市は積極的に考えているのか。

坪山教育次長

積極的に考えている。ネーミングライツをするには企業にメリットがないといけない。まずは様々な大会を誘致して、下野市には大松山運動

|            |   |
|------------|---|
| 永山委員       | 公園があるということを周知していこうと考えている。   |
| 池澤教育長      | 企業にスポンサーになっていただけることはありがたいが、公共の施設に一企業の名称を付けることには違和感がある。  |
| 三橋委員       | 他に質疑等はあるか。  |
| 坪山教育次長     | 大松山運動公園の天然芝の管理について、芝管理技術者の資格を取得した職員を育成するとあるが、現在資格を持っている職員はいるのか。   |
| 池澤教育長      | 現在はいいない。芝管理の講習会に職員を派遣して、資格を取得してもらい、日常の芝の管理を職員が行うことで、管理費の削減に努めていく。   |
| 近藤教育総務課長   | 他に質疑等はあるか。(特になし)<br>続いて(2)教育委員会後援等の承認について説明を求める。<br><b>【説明要旨】</b><br>「下野市教育委員会後援等承認一覧」に基づき、7月現在で7件の承認をした旨の報告を行う。6件が後援、その内の1件は教育長賞交付も承認、1件が共催となっている。No.1の新規を除きいずれも過去に実績がある団体である。 |
| 池澤教育長      | 質疑等はあるか。  |
| 熊田委員       | 「税に関する標語審査会及び表彰式」に参加者に「石橋地区小学6年生応募者216名」とあるが、これは石橋地区の小学6年生全員の人数なのか。   |
| 近藤教育総務課長   | 熊田委員のおっしゃるとおり、216名は石橋地区小学6年生全員の人数である。   |
| 池澤教育長      | 他に質疑等はあるか。(特になし)<br>続いて(3)寄附の受け入れについて説明を求める。  |
| 近藤教育総務課長   | <b>【説明要旨】</b><br>アップライトピアノ、木製ベンチ2基の寄附があった旨の報告を行う。   |
| 池澤教育長      | 質疑等はあるか。  |
| 永山委員       | いつも評価額が載っているが、市の財産目録には記載されるのか。  |
| 近藤教育総務課長   | 50万円以上の物については財産として記載されるが、軽微な物についてはそのように記載はされていない。   |
| 永山委員       | 財産として載るのであれば、償却する物としない物があるので、評価額が大切になってくる。評価額についてよく考えておいていただきたい。  |
| 熊田委員       | 寄附されたアップライトピアノは新品なのか。   |
| 近藤教育総務課長   | 中古である。  |
| 池澤教育長      | 他に質疑等はあるか。(特になし)<br>続いて(5)平成30(2018)年度下野市立図書館の評価結果について説明を求める。   |
| 手塚生涯学習文化課長 | <b>【説明要旨】</b><br>「平成30(2018)年度下野市図書館評価報告書」に基づき、評価点や課題として報告された内容について説明を行う。   |
| 池澤教育長      | 質疑等はあるか。  |
| 熊田委員       | 石橋図書館の課題の中に「・大松山運動公園がオープンし、環境の変化に対応した図書館運営を望む。」とあるが、具体的にはどのようなことを望む意見が出たのか教えていただきたい。  |

|            |   |
|------------|---|
| 手塚生涯学習文化課長 | 大松山運動公園がオープンして大型遊具施設ができたことにより、子どもの利用が増えた。そのため、子どもが利用しやすい環境づくりをしてほしいという意見が出た。  |
| 熊田委員       | 総合評価の部分で、南河内図書館の「学校との連携による子ども読書活動の充実」がA評価になっているが、学校にボランティアの方が出向いて貸出をしていることが評価されたのではないかと考えたが、それ以外に考えられる理由は何か教えていただきたい。                     |
| 手塚生涯学習文化課長 | 熊田委員のおっしゃった理由が主であり、児童図書を専門としている図書館として南河内図書館が特に頑張っている点がA評価につながったと考えられる。  |
| 池澤教育長      | 他に質疑等はあるか。(特になし)<br>続いて(6)令和元年度 第14回下野市民体育祭ティーボール大会結果報告説明を求める。  |
| 若林スポーツ振興課長 | <b>【説明要旨】</b><br>「令和元年度下野市民体育祭ティーボール大会結果」に基づき、参加チーム数や大会の結果の報告を行う。   |
| 池澤教育長      | 質疑等はあるか。(特になし)<br>ここで傍聴の方には一旦退出をお願いする。<br>(傍聴人が一旦退出する。)<br>続いて(4)とちぎっ子学習状況調査結果(速報)の報告について説明を求める。  |
| 池澤教育長      | 以下、非公開。<br><br>ここで会議の非公開を解く。傍聴人の入室を許可する。  |
| 若林スポーツ振興課長 | 次に、その他に移ることを告げる。<br><b>【説明要旨】</b>   |
| 手塚生涯学習文化課長 | 8月2日開催の2019年度夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会について、開催時間や雨天時の対応、市内の小中学校やスポーツ少年団、ラジオ体操同好会等に周知した旨の説明を行う。   |
| 手塚生涯学習文化課長 | <b>【説明要旨】</b><br>8月3日午前10時より南河内公民館において、ひとまちづくり講演会を行うので、教育委員の皆様にもご参加いただきたい旨説明を行う。  |
| 齋藤教育総務課長補佐 | <b>【説明要旨】</b><br>前回の教育委員会でお伝えした、教育のつどいの講師謝礼について、10万円ではなく8万円に訂正させていただく。また、令和元年度の教育のつどいの講師選定について、小山高専のロボコン関係の先生に講演していただく予定になったので、報告させていただく。 |
| 池澤教育長      | 他に連絡事項等はあるのか。(特になし)<br><br>次回の教育委員会は、8月20日(火)午後1時30分からの予定とする。   |

本日の議事日程は全て終了した旨を告げ、午後5時閉会。